



ホッとネットおおさか 避難者交流会 を開催しました！

6月25日(日)大阪府立大学I-site なんばを会場にホッとネットおおさか(大阪府下避難者支援団体等連絡協議会)主催の避難者交流会を開催しました。

今年は住宅支援が終了したこともあり、昨年よりも参加者が減り10世帯13人の参加でした。交流会では今年もヒルトン大阪からケーキをご提供いただき、喫茶コーナーでは、久しぶりの再会に避難者同士だけではなく、支援団体のメンバーとも親交を深めました。

NPO 法人全日本企業福祉協会(チームおせっかい)のブースには所狭しと、たわわに実ったトマトが並びました。このトマトは福島県大熊町から和歌山に避難し、農業に取り組みされた永井さんが3年間の成果として出展され、避難者には無料で配布し、販売分も早々に完売しました。

他にもホッとネットおおさかの加盟団体である大阪弁護士会のなんでも相談を始め、大阪司法書士会、日本産業カウンセラー協会、JCDA 日本キャリア開発協会などの専門家が相談にあたりました。

日本産業カウンセラー協会からは、今回参加できなかった避難者の皆さんへ「無料・訪問カウンセリング」があることを伺いました。これは東日本大震災「こころのケア」ボランティア支援として、関西圏に避難・転居された避難者やご家族を対象に、こころの悩み・くらしの悩み(住宅問題、居場所など)をお気軽の相談してほしいとの思いから始まった取り組みです。

他にもNPO 法人大阪府高齢者大学のブースからは、「年度途中でも入学できます」とのPRがあり、受講料は2年間免除で交通費も一部助成があるとのことでした。基本的に1年間に1講座を学びますが、講座は歴史や語学、文化、芸術など65教科と豊富で、経年にわたって学ぶことができます。また隔月で避難者交流会を開催して、交流会のあとには会場のアネックスパル法円坂(森ノ宮)の近所の大阪城やバラ園などにお出かけもしています。



ヒルトン大阪提供のケーキを囲んでの交流コーナー

参加者の声

「本日、雨の中、沢山の支援団体さんが来て下さって、本当に有り難かったです。年に一度のこの交流会で久しぶりにお会いできたことがすごく嬉しかったです。」

「ホッとネット定期便はやっぱり嬉しい。定期的で開催されるイベントや交流会は少なく、イベントの開催日が不定期であるので困ります。」

「福島県から避難。言葉や文化の違いに当初は戸惑ったが、家族と共に仕事を見つけて楽しく生活を行っています。」

「娘がボランティアさんにヘアアレンジをして頂くのをとても楽しみにしていました。本日、ヘアアレンジとメイクまでしてもらい、子どもは大満足。私も娘の嬉しそうなお顔を見て幸せになりました。」



◎日本産業カウンセラー協会

避難者・ご家族向け 訪問カウンセリング
問合せ・利用申込み 06(4963)2357
一般社団法人日本産業カウンセラー協会 関西支部
受付：月曜～金曜 午前9時～午後5時
〒541-0053 大阪市中央区本町1丁目4番8号
エスリードビル本町8階

◎NPO 法人大阪府高齢者大学校・募集委員会

避難者向け 平成29年度受講生募集
問合せ 06(6360)4400
NPO 法人大阪府高齢者大学校
受付：月曜～金曜 午前10時～午後5時
〒540-0006 大阪市中央区法円坂1-1-35
大阪市教育会館(アネックス パル法円坂)

震災から6年余り避難者を取り巻く環境も変わっていきませんが、避難者に寄り添う支援をこれからも続けていきたいと思ひます。



方言の交差点

—東北弁と大阪弁が出会う場所—

〈 肩か？首か？—「カタグルマ」の方言— 〉

子どもが大人の肩の上に座っていることを、みなさんは何と言いますか？

共通語では「カタグルマ」と言いますが、かつて大阪では「カタクマ」と言ったそうです。「カタ」は肩。「クマ」は「クルマ（車）」が変化したか、もしくは「コマ（駒）」が変化したものだと言われています。

関東の周辺地域や東海地方では「テングルマ」が使われていました。これは二人以上が手を組み合わせて人をのせる遊びを表わす手車に由来すると考えられています。となると、「カタクマ」の「クマ」のルーツは「テングルマ」と関係していた可能性が出てきます。

でも、「クマ」のルーツを「コマ」だと考えると、違う方言との関係が見えてきます。関東の周辺部や中部地方で使われた「カタウマ（肩馬）」です。「コマ」は馬を意味する言葉ですから、「カタウマ」も「カタコマ」も、人が人の肩の上に座る様子を見立てたということになります。

さて、東北ではかつて「クビノリ」が使われていたようです。なるほど、たしかに肩の上に座るということは首に足をかけていることでもあります。同じ状態

を見ても、肩か首か、注目する部分に大阪と東北の違いがあったようです。

追手門学院大学経済学部講師 榎引祐希子

※方言に関するご質問やご意見がありましたら、こちらまで。
yukushib@otemon.ac.jp

Café IMONIKAI のご案内

毎月開催の交流会★みんなでゆっくりお話ししましょう。途中参加、途中退室は自由。当日参加も大歓迎です。



8/29 (火) 9/26 (火) 10/31 (火)

時 間：いずれも 10:00 ~ 16:00

場 所：大阪市立社会福祉センター

問合せ：peimonikai@gmail.com

※保育が必要な方は2週間前までにご相談ください。



発行

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会
大阪市ボランティア・市民活動センター
(協力：大阪市各区社会福祉協議会)

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町 12-10
TEL: 06-6765-4041 / FAX: 06-6765-5618
メール: imonikai@osakacity-vnet.or.jp (担当:小野)

《利用時間》 月・水・金 9:30~20:30
火・木・土 9:30~17:00

(日曜・祝日及び年末年始休館)